

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 小麦の生育障害の原因究明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 小麦栽培は高齢化の進展等に伴う担い手が不足する中で、遊休農地解消に役立っており、本県における栽培面積は徐々に増加している。 ところが、数年前から広域でほ場のところどころでスポット的に、茎立期頃から葉先枯れとともに生育が遅延する症状が目立って発生している。 本症状により収穫量の減少はもとより、農業者の営農意欲の低下も懸念されるので原因の究明をお願いしたい。 平成28年産小麦栽培面積 36ha 平成29年産 発生地域及び面積 藤沢市約70a、秦野市約80a	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 平成27年度に生育障害が発生している生産者にアンケート調査を実施し、各ほ場の土壌診断、ウイルス検定、土壌水分測定、土壌硬度測定を実施したが原因を特定するまでに至っていない。 ※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。	
回答機関名	農業技術センター
担当部所	生産技術部野菜作物研究課 生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 要望問題の症状について当所内の試験ほ場での発生はみられないので、現地調査を中心に対応します。現地調査及び品質調査の際は協力いたします。	
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備考	